

純愛ネトラ女教師

体験版

な
か
膣内
でイク
幸せを
生徒に教えられました

あまがみ堂





ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

あぁっ
そんな…んっ♡

ダメえ そんな所…
きたな—んあぁっ♡





わたしは大人げなくも
はしたない声を上げてしまう

彼の舌と唇が
わたしの敏感な部分に
触れるたび…

ちゆく…
汚くなんてありませんよ

それに…
さつきシャワーを
浴びたじゃないですか

でもお…んんっ♡
く…クリの皮っ
剥いちやダメええ♡



んひひひひひ♡

んひひひひひ♡

ああ、これが
透子先生のクリ…
すっかり勃起して…
まるで宝石みたいだ♡
んちゅう♡



皮を剥かれたクリトリスは
恥ずかしい位に堅く
大きく勃起していて…

否応にも
わたしが興奮しているのが
彼にまるわかりだった

そしてソコを優しく唇で
ちゅうつと吸われ
わたしは――

——子センセイ？
透子センセイってばあ





どうかしましたかあ？
つて…
もう酔っちゃいました？

…とわたしに
声を掛けてくるのは――

わたしの同僚の
『狩野 瑠衣（かりのるい）』だった



ああ…
ごめんなさい
狩野先生

ちよつと二人で
考え事してたら
ぼおつとしちゃって…



そしてわたしは
『灰原 透子(はいばらとうこ)』

彼女と同じ
学校の教師だけど…

その年齢は
干支が廻りするくらい
離れている



対して彼女は
まだ20代中盤：
いや そろそろ後半？

だけど何故か彼女には懐かれていて
こうして一緒に飲みに来ることも多い

あゝソレってえ…
もしかしたら
オトコのヒトの事ですかあ？



ちよ…
何を言つて—

だつてえ さっきの
透子センセイのカオ

ウツトリと曰を潤ませて…
メツチャ蕩けてましたもんW



う…嘘っ!?
わたし…
顔に出てたなんて—

おお!?

カマかけた
だけなんですけど…
ホントに
そーだったんですねえ♪



か…狩野先生!?
歳上をからかうのも
いい加減に――

つて…まあ?

ワタシ…先週の晩
見ちゃったんですよね

透子センセイが
若いイケメンとふたり…
手を繋いで歩いてるトコ

あー
もちろんダレにも
言つてませんよお？

かか…狩野先生っ
そそ…それはその!?

なっ!?



ほ…
ほんとうに？

ええ♪
こう見えてワタシ
クチは堅いんです♪

それにまあ？
ワタシ透子先生の
大ファンですから♡



うう…ええと
ありがとう？

その代わりと云っては
ナニですけどお

ワタシ…
ぜひ聞きたいなあ
透子センセイの…
コイ・バナ♡



こい
こいバナなんて…
そそのお…

あゝもちろん
ココだけのハナシに
しますからあ!?

それに…何だったら
ワタシのヒミツのこいバナも
話しちやいますからあ♪



でで
でもー

あー
ココまでお願いしてるのに
話してくれないなら…

ワタシは
誰かにさっきのロト
うっかり
喋っちゃいそーです♪



ガクッ

うう…判ったわ
…話しますっ
話せば良いんでしょっ!?

わあお♪
さっすがは透子センセイ♪

あ…もちろんベッドの
上でのハナシも『込み』で！
お願いしますねえ♪



はああ…もう
狩野先生ったら

けれどわたしは
彼女に呆れながらも…

それが単なる
『ポーズ』である事を自覚していた



それは…あの時の
彼との情熱的な夜の…

きっと誰かに
聞いてほしかったのかもしれない♡








あれは…
ひと月ほど前の事だったわ

かつてわたしが担任だった
クラスの卒業生たちが
同窓会を開くことになってね？

そこにわたしも
呼ばれたのよ



卒業してから
5年目の同窓会という事もあって
とても盛り上がってね

あんまり楽しいものだから
つい…わたしも
お酒を飲みすぎちゃって――





あっ

ふう...!
いい気持ち♪

ぐらっ

どいっ

おっと…
透子先生
大丈夫ですか？

えええ…
ありがとう

うふふ♪
あの問題児が
すっかり頼もしく
なっちゃって




ちよ——
カンベンしてくださいよ
先生…

卒業して
5年も経ってますし…
少しは落ち着きますって

ええ…ほんとうに
早いものですよね
時の流れというのは…




A woman with short dark hair and red-rimmed glasses is walking down a street at night. She is wearing a grey business suit with a matching skirt. She has a confident, slightly mischievous expression. The background shows a dark street with a utility pole on the left and a building with lit windows on the right.

おかげでわたしも…
すっかりアラフォーの
オバサンですし♪

まあ うふふ♪
お世辞でも嬉しいわ♡

そそんな事無いですって！
先生はまだ若くて…
キレイです！



ああ……ごです
わたしの住まい

お
お世辞なんかじゃ――

えっ？ ず……ずいぶん
立派なマンションですね……

夫と離婚した時に
財産分与で
貰い受けたんですが…

立地が気に入っていて
そのまま住んでいるだけですよ

そ
そうですか…



ああ…よかったら
酔い醒ましに
お茶でもいかが？

送ってくれたお礼に♪

え



なんだかお互いにまだ
話し足りない様な気がして…

ついそんな風に
声を掛けてしまったんです

けれど…



そして今思えば…

ぜ
ぜ
び
!

この時の
彼の嬉しそうな笑顔に――

わたしはすでに
彼に惹かれていたのかもしれない…







お..
お邪魔します..

ああ
そこへ掛けてください…
今 お茶を淹れますね？

は
はい



もう…そんな堅く
ならないでいいのよ？

ここは
生徒指導室じゃ
ないんだから♪

うう…透子先生には
何度も叱られましたねえ




うふふ♪
懐かしいわねえ

ええとても
頑張っていたものね♪

ですが…そのおかげで
無事卒業して
大学にも入れました





ですが…
いいんですか？

お俺…
透子先生に逢えて
本当に――

それも全部…
先生のおかげです！

もう…
わたしみたいな
オバサンを送ったりして…

…え？

今日 幹事をやっていた
藤本さん…
あなたに気が
あるみたいでしたよ？



そうなんですか？
じゃあ…歳下好み？

お俺は…
歳の近い女性って
その…ちよつと苦手で…

い…いえっ
歳上が好みですっ



え

ぐいっ

そのっいつも俺を
叱りつけてくれるような…
そんな女性が――

だから俺…ずっとずっと
忘れられなくて…
透子先生の事が！




んむっ

んっちゆく…

あ大輔…くんっ!?

♡♡♡



そして気づけば…
わたしは彼に
キスをされていたんです

大きな手で
わたしを力強く抱き寄せながら…強引に

ちゅっ…ちゅっ
透子先生っ 好きです！

だ 大輔くん…んちゅう
だ だめっ こんな…のお

ちゅく…
お 俺だって…先生を
忘れようとしたんです…



けど
ダメだった…

先生より
魅力的な女性なんて…
どこにも居なかったんです！

そそれは—んちゅつ
ああ…だだめえ♡

ちゅつ♡
ちゅつ♡♡

だからもう…
俺は自分に
嘘はつきたくないんですっ

大好きな…
透子先生の事をっ
んちゅうう♡

ちゅう…くちゅ♡
ああ そんな…ダメえ

ちゅっ♡
ちゅっ♡♡



ちゅっ くちゅっ…♡
あぁ 透子先生っ
好きですっ 大好きですっ

んちゅ…ちゅ…
あぁ だめえ…
お願い…止めてえ
大輔…くうん
くちゅ…あぁ
そんなイヤらしいキスう
だめ…なのぉ♡





ちゅ…
先生が本当に嫌なら…
俺を突き飛ばしてくださいっ
すぐく辛いですけど…
先生を悲しませるくらいなら…
くちゅ♡

ちゅ…ちゅう♡だめえ♡
こんなキスされたら…
わたしいい

ちゅ♡
ちゅ♡♡

やつ
あああ…だめっ
そんな…ああっ

ここれが
先生のオッパイ!?
ああ…まるで夢みたいだ

ちゅ…ずっとずっと
このオッパイに…
触れてみたかったです!

むにゅ♡



先生…

わたしとあなたが
いつたい…
何歳離れてると
思ってるの？

ちゅう…くちゅ♡
ああ…でもダメえ

ちゅ♡
ちゅ♡♡

ちゅ♡

だから…ね？
こんなオバサンの
事なんて忘れて？

あなたはもっと
若い娘と——
んあああ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡


おにゅ♡

ちゆく…それでも
諦めきれないんですっ
透子先生のことがつ

透子先生は
俺の初恋の人で…
ずっとずっと
俺の憧れなんですっ

だ大輔…くん
んあああ♡

だにゅ♡
だにゅ♡



そんな彼の甘いセリフが…
その大きな手が
わたしのオツパイを揉みしだくたび

痺れるような快感が
全身を駆け巡りました

そしてついには…

んっ♡んっ♡
んっ♡んっ♡

んっ♡んっ♡
んっ♡んっ♡

そんな甘い声と
蕩けた表情を
彼に見せてしまったら――





せ先生？
——んむっ

んぐ、
びくんっ♡

んちゅ♡
んちゅ♡
んひ♡
んちゅ…ちゅうっ♡

ああ…ほんとうに…んっ♡
悪い子…なんだからあ♡



わかったわ…
こんなオバサンの
身体でよければ…
好きにしていいわ

ちゅっ…でも先生
俺は――

と
透子先生っ♡

そのかわり…
今晚だけ

明日からはまた
今までどおりの関係に
戻ること…約束できる？

せ先生…
……はい

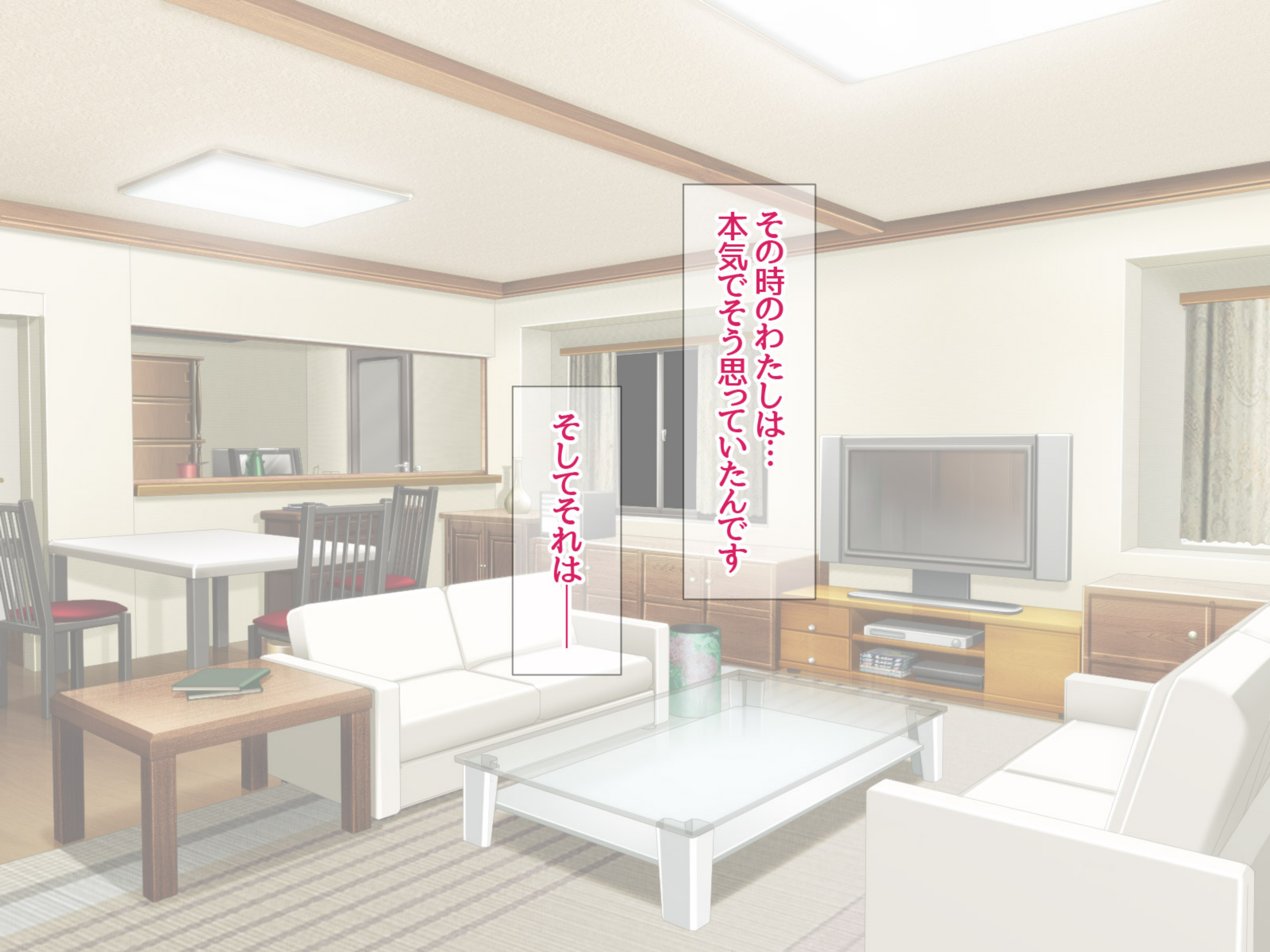


そんな彼の悲喜こもごもな表情に
わたしの胸がきゆうんと
締め付けられるのが判る

でも…これでいいの

いちど経験してしまえば…
彼も他の女性に
きつと目が向くはず

ちゅっ
ちゅっ♡



その時のわたしは…
本気でそう思っていたんです

そしてそれは



あや

ふふ…ん…♡

やだ おマンコ…
まだ濡れてる



そのままわたしを
押し倒しそうな大輔くんを
必死になだめ

彼から先に
シャワーを浴びることにしたの

うう いつもより
念入りに洗ったのが
裏目に出てしまったわ…



でも…よかった

まだ
枯れてなかったのね…
わたしのおマンコ



夫と別れて——
いえ 離婚する数年前から

わたしはずっと
セックスをしていなかったの

だからもう
セックスなんて無理……
そう思っていたのだけど……



やだだ…わたしったら
何を期待してるのかしら…

ええ…大輔くんだったって
この緩んだ身体を見れば…

きつと落胆して
頭が冷えるはずだわ…



それはきつと…
彼の為にも
良いことのはず

うう…なのに
なんで濡れちゃうのよお
わたしの…おマンコお





ガ
チャ…

お…
お待たせしました…



透子先生…
綺麗です

まるで女神様…
みたいです♡

ももう…♡
またお世辞ですか？



きゃっ!?
お…大きい…

いえっ 本音です
その証拠に――

ピキ
ピキ
ピキ…



ボクサーパンツだけの姿の
彼の股間は…

夫とは比べ物にならない
まるで腕の様な太さのおチンポが…


窮屈そうに
勃起…してたんです♡



とっ...とっ...

きゃっ!
だ...大輔くん!?





ひとしきり
大輔くんと抱き合って
キスをした後…

彼はそつとわたしを
ベッドに押し倒して――

そっ そんなコト…
しなくていいから—
あひんっ!?

ええ…彼ったら
わたしの脚の間に
潜り込んで…

わたしのおマンコを
間近で見始めたの

くぱぁ..あ..

こここれが
透子先生のマンコ♡

ああ…
すごく綺麗です♡

う…嘘っこんな
ヘアの手入れもしてない
おマンコ…綺麗な訳—
んひい♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

んあああ♡
や…そんな所
汚な—んひいい♡

ちゅ…クチュ♡
そんな事…ないですよ
俺が今まで見た
マンコの中でも
一番魅力的です！
んちゅう♡

んちゅ…いいえ
汚くなんてありませんよ？
透子先生♡

俺…先生のマンコなら
何時間だって
舐め続けられますから
レロお♡

んあああつ♡
だだめえ♡



ちゅく♡
そんな訳ないですよ…
すうすう♡

うう…でも…
別れた夫なんて
一度も舐めてくれなかったわ
それに匂いが
キツいって言われて—
んひい♡

だっだめえ!?
匂いなんて嗅いじや
んあああ♡

クチュ…ちゅう♡
…そりゃあ確かに?

ヨーグルトのような
酸味系の
匂いがしますけど…




とんでもないむしろ俺…
透子先生のマンコの匂い…
好きです♡

それに味だつて…
んちゅ…くちゅ♡

ややっぱり臭い…
わよね？

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡




ちゅ…うん やつぱり
ヨーグルト系ですね
好きな味です♡
んちゅう♡


あひつ♡
ああ…わたしい
大輔くんにおまんこ
舐められてる♡




嬉しい…っ♡
ああ 大輔くん♡



…はっ!?
わわたしったら…
何を素直に
喜んじやつてるのよう!?
彼を幻滅させて
目を醒まさせてあげるんじや
なかったの!?




だ 大輔くんっ
ですからもう…
わたし——



ちゅ…はいっ
そろそろ本気でイキますね？
ちゅっぱ♡レロっ…♡

んひひひひひ♡



彼ったらね？
尖らせた唇で強めに
クリトリスを責めてきたの♡

今まで膣口ばかり
責められていたから…
わたしったら思わず—

きっ気持ち…いい♡
おマンコ気持ちいいのお♡
んあああ♡



んちゅん…
よろこんで♡
カリッ♡

そうしたら…
彼—

そんな風にもねだり…
させられちゃってね？

わっ
わっ

ちゅっ



ひびい♡
んっ…ほおおおおん♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

わたし…
クリトリスを
甘噛みされちゃって

ええ…
その一撃であっけなく
イカされてしまったの

もちろん…
あんなすごいアクメ
生まれて初めてだったわ♡

はぁ
はぁ
はぁ♡♡♡

ああ…
本当に可愛いです…
透子先生♡

透子先生…
イキすぎて
話せないんですね？

んひっ…♡ あっひ♡
—
んひ♡

んひっ♡
んひっ♡
んひっ♡

んひっ♡
んひっ♡
んひっ♡



ああ…俺
透子先生をもっと
イカせてあげたいんです！

じゃあ…いきますね？
透子先生♡

ふえ？
え…ちよ

はー
はー
はー♡
はー♡

はー♡
はー♡
はー♡

イキすぎて

霞む目を必死にこらして見れば…

あの腕の様なおチンポが
むき出しになっていて…

ああこれはダメ…
わたしがダメに
なるヤツ——



だ
だいすけ…くん？

わたし…
まだアクメ…
収まらなくて…

いいまそんなの
挿れたら…
死んじゃ—

おはよう

んひひひひひっ!?

んあああつ♡
キモチいい♡
キモチいいのおおお♡

ちゅぶ…ああ
アへつてる瑠衣姉…
マジでカワイイよ♡
レロっ♡じゅぶぶぶっ♡

はな♡
はな♡

んっひいい♡らめえ♡
またイグっイグ—
んあああつ♡

ぐっぐっ

ぐっぐっ

純愛ネトラ女教師

膣内でイク幸せを
生徒に教えられました



はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

あぁっ
なにこれええっ
太さも…堅さもおお
カレシとぜんぜん
ちがううっ!?

純愛ネトラ女教師

膣内でイク幸せを
生徒に教えられました

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

純愛ネトラ女教師

膣内でイク幸せを
生徒に教えられました



俺もキモチよすぎて…
たまならしいです♡

ええ…♡
わたしも…
たまらないわぁ♡

透子先生…
可愛いです♡

あはあ♡ ねえ…
ワタシのオマンコ…
キモチいいでしょお？

ほらあ
こんなにイヤらしく
動いちやつてるのよお？
んああ♡

すスゴい!?!
メツチャ締まるし…
くうう!?!

グハッ

グハッ

純愛ネトラ女教師

膣内でイク幸せを
生徒に教えられました

シナリオ：身から出た鯖

あまがみ堂

原画：さあぺんと

基本画像 11枚+立ち絵 4体
差分を含め 総CG枚数 471枚

純愛ネトラ女教師

な 腔内 でイク幸せを
か 生徒に教えられました